

文京学院大学女子高等学校「江の島国際芸術祭 2024」へ出展
“インクルーシブ”な社会の実現をテーマに、高校生と障がい者の方の協働アート展を開催

文京学院大学女子高等学校（校長：清水直樹）は、昨年に引き続き、「江の島国際芸術祭2024」に出展することをお知らせします。藍左師・守谷玲太氏（株式会社アートモリヤ 藤沢市）監修のもと、今年度は「皆が生きやすい“サステナブル”で“インクルーシブ”な社会づくり」をテーマに、藤沢市の障がい者就労施設で働く方と協働し、アオバジャパン・インターナショナルスクールと共同制作したアート作品の展示（5/21～6/10）と、藍染め体験ワークショップ（5/26）を実施します。

「AOBA×BUNKYO 藍 indigo project」概要

本プロジェクトは、探究活動の一環で、本校生徒および本校と教育連携を行うアオバジャパン・インターナショナルスクールの生徒との共同プログラムとして、昨年スタートしました。“アート”と“サステナブル”をキーワードに、芸術性と持続可能性を兼ね備えた「藍」をベースとしたアート作品の制作を通して、社会課題を考え発信することを目的としています。

2年目を迎える今年は、多様性を認め合い、あらゆる人が排除されることのない“インクルーシブ”な社会の実現という新たなテーマも設定し、藤沢市での取り組み事例について、講義・実地研修を実施してきました。そして、藤沢市在住の藍左師・守谷氏監修のもと、江の島の藍と藍染めの表現技法を用いて、高校生たちが藤沢市の障がい者就労施設で働く方々と協働で、誰もが障壁なくデザインできるアート作品の制作を行いました。作品には、片瀬海岸で拾った貝殻やプラスチックを原料とした繊維など、SDGsに繋がる素材も散りばめられています。

この度の「江の島国際芸術祭 2024」への出展では、7つのチームに分かれた生徒たちが制作したアート作品とドキュメンタリー映像作品を展示・上映し、作品にこめた想いや研究成果を発表します。

「AOBA×BUNKYO 藍 indigo project」アート展示&ワークショップ実施概要

◇アート作品展示：

「江の島の藍を使った高校生と障がい者の方による協働アート展」

日時：5月21日（火）～6月10日（月）10：00～18：00
会場：江の島サムエル・コッキング苑「UMIYAMA GALLERY」
入場料：無料 ※夜間イベント開催時は17時以降に退園する方は有料となります。
作品名：『受け入れの華』
『助け合う世界』
『絆』
『海と陸の演奏』
『藍春（せいしゅん）の夢』
『桜梅桃李』
『江の島からインクルーシブな社会を広げよう』

◇ワークショップ：

「子どもも大人も楽しめる！好きなものを染められる！『藍染め』体験」

日時：5月26日（日）10：00～15：00
会場：江の島サムエル・コッキング苑「UMIYAMA GALLERY」
参加費：無料
概要：アート作品のベースになっている“藍”についてより知っていただくための、藍染め体験（ハンカチ等）ができます。高校生やインターナショナルスクール生と一緒に、藍染め体験を通して“サステナブル”や“インクルーシブ”といったキーワードについて、あらためて考える機会にしてみませんか？ぜひ、お気軽にご参加ください。

※素材の持参可（綿または麻素材／白系／Tシャツ1枚程度のサイズ）

